

サーモ・スタディ2006 (岩手)のご案内

# 熱処理テクニックの基礎と新しい熱処理技術

主催：(社)日本熱処理技術協会  
共催：岩手県工業技術センター (財)いわて産業振興センター  
岩手県材料応用技術研究会 岩手非鉄金属加工技術研究会

日本熱処理技術協会は、平素より機械工業の基礎技術として重要度の高い熱処理技術の向上に微力を尽くしてまいりました。その活動の一環として、この度、岩手県工業技術センターおよび(財)いわて産業振興センターとの共催で下記のとおり「熱処理テクニックの基礎と新しい熱処理技術」をテーマとするサーモ・スタディ2006(岩手)を開催いたします。

多数の皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

日時：平成18年10月30日(月)・31日(火)  
場所：岩手県工業技術センター  
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL 019-635-1115 (代)  
聴講料：無料 (聴講券は発行しません。下記に従ってお申し込みのうえご参加下さい)  
講演概要：当日、会場受付でテキストをお渡しします。(但し、印刷実費として3,000円頂きます)  
申込方法：申込書に所定の事項をご記入のうえ、下記へ郵送もしくはFAXでお送り下さい。  
(メールで必要事項をお送り下さっても結構です)  
申込先：(財)いわて産業振興センター (担当:勝負澤)  
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL 019-631-3827  
FAX：019-631-3830  
e-mail：shobuzawa@joho-iwate.or.jp  
定員：80名

※コピーしてご記入のうえ郵送またはFAXされるか、必要事項をメールにてお送り下さい。

サーモ・スタディ2006 (岩手)「熱処理テクニックの基礎と新しい熱処理技術」申込書

平成18年 月 日

連絡先(会社名)	〒		
所在地	TEL	FAX	
連絡先	FAX		
受講者氏名	所属部署名	連絡先 TEL	
1			
2			
3			

サーモ・スタディ2006 (岩手)タイムスケジュール

●10月30日(月)

時間	テーマ	講師
9:20 ~ 9:30	開会のあいさつ	岩手県工業技術センター 理事長 斉藤 紘一
9:30 ~ 10:30	最近の真空熱処理炉	石川島播磨重工業(株) 勝俣 和彦
10:30 ~ 11:30	高品質R/H型連続ガス浸炭炉	中外炉工業(株) 大下 修
	昼 休 憩	
12:30 ~ 13:30	最近の真空浸炭炉の話題	(株)日本ヘイズ 岩田 均
13:30 ~ 14:30	新世代表面熱処理技術	オリエンタルエンジニアリング(株) 河田 一喜
	休 憩	
14:40 ~ 15:40	硬さ試験とその装置	(株)ミツトヨ 小島 光司
15:40 ~ 16:40	金属表層の硬さ試験	(株)山本科学工具研究所 山本 卓

●10月31日(火)

時間	テーマ	講師
9:30 ~ 10:30	安全と環境改善に寄与する熱処理用薬剤	ナガセ ケムスペック(株) 笠井 秀明
10:30 ~ 11:30	熱処理油の環境問題と長寿命化について	日本グリース(株) 前田 十世
	昼 休 憩	
12:30 ~ 13:30	高性能化する熱処理設備	同和鉱業(株) 横瀬 敬二
13:30 ~ 14:30	最新金型材料を生かす熱処理及び表面処理	松山技研(株) 野村 博郎
	休 憩	
14:40 ~ 15:40	窒素による鋼の表面硬化技術	(株)日本テクノ 桜澤 均
15:40 ~ 16:40	金型熱処理の2ショット	(社)日本熱処理技術協会 大和久重雄
	閉会のあいさつ	(社)日本熱処理技術協会 竹内 榮一

おもな講義の概要

●最近の真空熱処理炉  
石川島播磨重工業(株) 勝俣 和彦 (10月30日)  
真空熱処理に関して、用途や使用範囲と他の熱処理にはない、光輝熱処理などの技術的な特徴と利点について説明する。また、反面で酸欠事故などの注意事項についても説明を加える。当社では一般真空熱処理に関して、ほぼ全ての分野で炉を製作した実績があり、様々な機種を手がけている。その主な機種の紹介と特徴について説明する。その他に最近のトピックスなどを説明する。

●新概念の連続真空浸炭炉  
(株)日本ヘイズ 岩田 均 (10月30日)  
当社は、自動車のトランスミッション用などの金属部品(歯車など)の表面に炭素分を固溶し浸炭することによって高品質に硬化処理できるトンネル式連続真空浸炭炉(V-プレスト)を開発した。本装置は、現状の連続ガス浸炭設備の置換えが可能な全く新しい概念が可能になる。既に実際に使用されている多室加熱室連続真空浸炭炉V-MALSを新たに商品群に加えて、新しい概念の連続真空浸炭炉を市場に投入しアセチレン真空浸炭技術を更に深化させたい。



量産型連続真空熱処理炉